

今森光彦 にっぽんの 里山

IMAMORI MITSUHIKO
SATOYAMA

2024
年 6・20〔木〕ー9・29〔日〕

東京都写真美術館

TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM

2階展示室

恵比寿ガーデンプレイス内

主催

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館

協賛

(株)ニコン／(株)ニシエーシングジャパン／東京都写真美術館支援委員

開館時間

10時ー18時 木・金は20時まで ※入館は開館の30分前まで

休館日

毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館)、翌平日休館

観覧料

一般700円／学生560円／中高生65歳以上350円 ※小学生以下

都内在住・在学の中生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名
までは無料 本展はオンラインによる日時指定チケットが購入できます。

TOP MUSEUM

《カタクリにやって来たギアチョウ》山形県鶴岡市 2010年 作家蔵



《朝霧の棚田》新潟県十日町市 2010年
写真は全て作家蔵

今森光彦のライフワーク 「里山」の全貌が東京都写真美術館で一挙公開

世界の熱帯雨林、砂漠から、国内の自然環境まで、自然と人との関わりをテーマに美しい映像と親しみやすい文章で伝えつづける今森光彦。東京都写真美術館では、自然写真家・今森光彦の「にっぽんの里山」を開催します。

幼いころから昆虫の生態と美しさに魅力された今森は、世界中の昆虫を求めて精力的に取材活動をつづけ、既成の生態写真にとらわれない独特な自然観に基づく作品は、内外で高い評価を得ています。また、故郷である琵琶湖周辺を中心とした「里山」と呼ばれる空間を見つめつづけ、自然と人との絶妙なバランスで生み出される里山を映像化してきました。本展覧会は今森が出会った日本全国200カ所以上の里山の中から、厳選した作品を紹介するシリーズ最新作です。

里山をめぐる今森の旅は、自然と人が調和する空間を鮮やかに浮かび上がらせ、美しく多様性に富んだこの国の自然に気づかせてくれることでしょう。今森光彦のライフワーク、里山シリーズの全貌が解き明かされる「にっぽんの里山」にご期待ください。



《豊漁を祈る》三重県北牟婁郡紀北町 2011年



《夏の紫胡蝶》高知県高岡郡越知町 2016年



《ヒガンバナにやって来たモンキアゲハ》長崎県鹿嶋市 2015年



《七色に輝く紅葉》岩手県八幡平市 2013年



《真冬の溪流》青森県十和田市 2009年

今森光彦 いまもり・みつひろ ●1954年、滋賀県大津市生まれ。独学で写真を学び、80年からフリーランスの写真家として活躍。以後、琵琶湖を望む田園にアトリエを構え、自然と人との関わりを「里山」という概念で追う一方で、世界各国を訪ね、熱帯雨林から砂漠まで広く取材。第48回毎日出版文化賞、第20回木村伊兵衛写真賞、第42回産経児童出版文化賞大賞など受賞多数。写真集に『里山物語』（新潮社）、『湖辺 みずべ』（世界文化社）、『今森光彦 昆虫記』、『今森光彦 フィールドノート里山』（ともに福音館書店）など著書多数。近年は環境農家、ガーデナー、里山環境プロデューサーとしても活動。

関連事業

講演会 **里山から生命の宇宙を語る**
出演 **福岡伸一 × 今森光彦**
(生物学者・作家)
日時 8月24日(土) 14:00~15:30

特別上映 **今森光彦 監修『里山』** (予定)
日時 8月25日(日) 14:00~15:30
アフタートーク **小野泰洋 × 今森光彦**
(元NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー)

会場：東京都写真美術館 1階ホール 参加費：無料
定員：190名(整理番号順入場／自由席)
※当日10:00より1階総合受付にて整理券を配布します。

アーティスト・ギャラリートーク 各回14:00~
7月6日(土)、7月13日(土) 出品作家の今森光彦による展示解説を行います。

担当学芸員によるギャラリートーク 各回14:00~
7月5日(金)・8月2日(金) 手話通訳付き・9月6日(金) 手話通訳付き

当日有効の本展チケットまたは展覧会無料対象者の方は各種証明書等をご持参の上、2階展示室入口にお集まり下さい。

※事業は諸般の事情により、変更することがございます。
最新情報は当館ホームページ等でご確認ください。

www.topmuseum.jp



撮影：今森元希

TOP MUSEUM



〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 Tel.03-3280-0099
JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。
当館には駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。
恵比寿ガーデンプレイス内